

次日は、朝食を吃して、午後は地主の家で講演会が開催されました。講師は、元大蔵省官僚の井上謙吉氏で、彼は、明治時代から昭和初期にかけて、多くの農業政策を策定した人物です。講演では、農業生産の現状と課題、また、農業政策の変遷について、豊富な知識と経験に基づいて、深入りした分析を行いました。聴衆は、講師の言葉に熱心に耳を傾けており、質疑応答の時間でも活発な議論が交わされました。午後は、地主の邸宅で午後茶会が開催され、地主たちと農家の間での情報交換や親睦が深められました。また、地主の邸宅では、地主の娘の結婚式があり、その祝賀会も開催されました。このように、地主社会の文化や習慣が垣間見えた貴重な体験でした。